PRESS RELEASE

平成 28 年 3 月 9 日

報道関係 各位

山形県川西町
株式会社ソルクシーズ
株式会社こころみ

見守りセンサーと会話による“健康寿命の延伸”実証事業をスタート

高齢者の安否と生活状況の確認から新しい見守り支援サービスを目指す

山形県東置賜郡川西町と株式会社ソルクシーズ（以下、ソルクシーズ、東証 2 部 証券コード：4284、東京都港区、代表取締役社長：長尾章）、株式会社こころみ（以下、こころみ、代表取締役社長：神山章男）は、見守りセンサーと会話型見守りサービスを組み合わせて得たデータを地域包括支援センターと連携し、独居高齢者の安否や生活状況の確認等の見守りに加え、“健康寿命の延伸”を目指す、新たな見守りサービスの実証事業を開始しましたのでお知らせ致します。

本実証事業は、山形県東置賜郡川西町が取り組む“健康寿命の延伸”を支援することを目的として開始しました。ソルクシーズの多機能センサーによる見守り支援システム「いまイルモ S」（以下、「いまイルモ S」）と、こころみの電話による会話型見守りサービス「つながりプラス」（以下、「つながりプラス」）を組み合わせて得た情報を、川西町、地域包括支援センター、住民などの地域コミュニティが連携して独居高齢者を見守ることで、単に安否確認だけの見守りではない、人との繋がりを重視した新しい見守りの支援サービスになります。

■実証事業の概要

山形県川西町在住の独居高齢者の自宅に設置した「いまイルモ S」で得たデータを、「つながりプラス」や地域包括支援センターと連携し、定期的な電話による会話などから安否及び生活状況や健康状態を確認します。実証事業は段階的に実施する予定で、次段階では、第一次実証で得た情報を活用して独居高齢者の日頃の行動状況やメンタル面の分析をします。将来的にはこれらの分析結果を使って、川西町が実施する健診・健康教室・ウォーキングなどのイベントへの参加促進を促すなど、地域包括による“健康寿命の延伸”を目指します。

■実証内容

１．対象者　：山形県川西町在住の独居高齢者 18 名

２．実証期間：第一次 2016 年 1 月下旬より 2 月末

第二次 2016 年 3 月中旬～段階的に実証（予定）

３．進行内容：①高齢者宅に訪問し、事前アンケートとセンサー設置宅はセンサーの設置。

②日常のセンサー状況確認と週 1 回の電話により、得られた情報を地域包括支援センターと共有。

③見守りや健康寿命延伸の推進の為の分析。

④将来に向けた新たな健康寿命延伸の創出。

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

株式会社ソルクシーズ

「いまイルモ」推進グループ　担当：六角（むすみ）、豊田

Mail：support@imairumo.com

TEL：03-6722-5019

FAX：03-6722-5025

「いまイルモ」WEB サイト　http://www.imairumo.com/